

農場通信 2022年 10月号

2022/9/24

トヨタネ研究農場の「今」をお知らせ！ 圃場の写真と、環境データ・管理方法も合わせてご覧ください！

① 圃場 ハウス ② 試験内容


③ 開始日 ④ 終了予定


① 第4 A ② ココバッグ展示栽培

③ 2022/8/30 ④ 2023/7月下旬


<p>品目</p> <ul style="list-style-type: none"> 栽培中 栽培準備中 今月最終 	圃場写真①	圃場写真②
<p>直近の環境データ・管理方法(晴天日)</p> <p>※特に表記のないものは 設定と実測の温度を示しています</p>		<p>今月の状況 と 今後の管理</p>

大玉トマト






4年目



新品

【9/21 環境状況】



品種は例年通り桃太郎ホーpxアシスト接木9cmポット苗。4年目と新品バッグでの生育比較、『ハーブ』バッグの比較展示も行います。

現在は1段開花したところ。例年通り初期草勢が非常に強く、肥料と水は控えて管理しています。バッグ間で大きな生育差は見られません。


① 第4 B ② ミニトマト品種比較試験


③ 2022/7/25 ④ 2023/6月

① 第4 C ② 大玉トマト品種比較試験

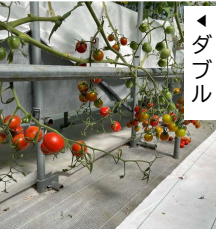
③ 2022/7/25 ④ 2023/6月

ミニトマト

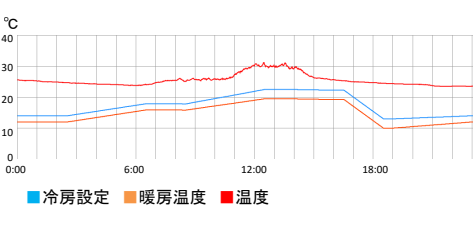




シングル




ダブル




現在は7段目まで開花、週2回ホルモン処理を行っています。9/6から収穫が始まり、中旬には全ての品種を収穫しています。給液の上げ遅れによって芽先が細くなっています。

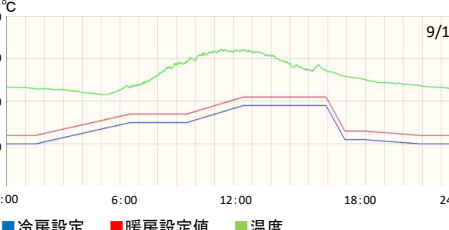
給液は日射比例制御、給液ECは1.8、排液率10-20%になるよう調整しています。

大玉トマト





1段目



3段目のホルモン処理が始まっています。


1段目が収穫～収穫直前です。一部着果不良がみられたり、尻腐れが発生してしまっています。

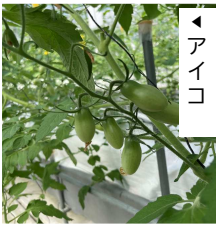
給液量は、プロファーム(日射)で制御開始、晴天時で1000ml/株、ECは1.6、排液率10-20%になるよう調整しています。

① 第4 D ② 品種比較&肥料高騰対策試験 ③ 2022/8/23 ④ 2023/4月


① 第4 E ② ベンチ・品種比較試験 ③ 2022/9/1 ④ 2023/5月

変わり種
トマト

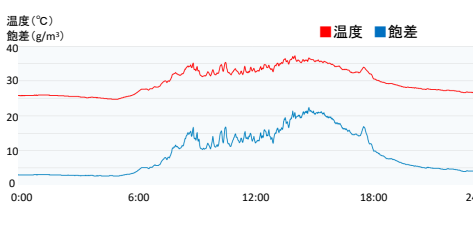




アイコ




肥料高騰対策




品種により差はありますが、3~4段目が開花し、ホルモン処理を行っています。1段目の実も随分と大きくなりました。

9月16日に、バコトップ(タバコカスミカメ)の放飼を行いました。

イチゴ





3段での栽培に挑


【栽培スタート】
クラウン温度制御試験区のみ、9/1に定植を行いました。制御温度は栽培期間中18℃に保ち、夏場は冷却、冬場は加温の効果を見ます。

9/28に定植を予定している試験区は
・種子繁殖性品種比較試験
・新ベンチの展示
です。

① 第4 J ② 試作肥料・生育ムラ比較試験 ③ 2022/10/5 ④ 2023/6/30

① 第4 I ② 排液リサイクルシステム実証試験 ③ 2022/8/19 ④ 2023/6月


キュウリ




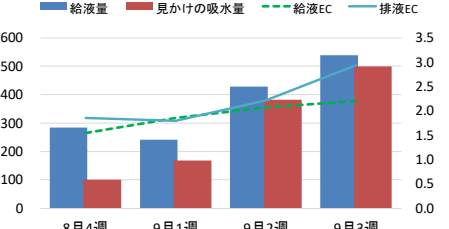
次作準備中

【次作準備中】
次作の主な試験内容は
・長期作、短期作の比較
・誘引方法の検討
・キュウリ専用液肥の開発
です。

大玉トマト









2-3段目のホルモン処理が始まっています。



給液量は500ml/株、ECは2.5と高めに管理。初期から給液ECを高めに管理し、年内の高糖度を目指します。

9/15~排液の再利用を開始しました。毎月、給排液を分析し、組成のバランスを確認していきます。

① 第2 露地 ② ブロッコリー品種比較試験 ③ 2022/8/24~④ 2023/4月

ブロッコリー		◀ 1作目		▶ 2作目
	<p>①年内作 8/25定植。本葉7-8枚。 ②年またぎ作 8/19播種、9/15定植。 ③年明け作 8/30播種。 ④年度末作 9/20播種。 ⑤春作 1月中旬播種予定。</p>		<p>1作目は順調に生育中。 2作目は、晴天続き萎れ気味。 また、台風もありましたが、何とか活着しました。 随時、播種・定植を行っていきます。</p>	



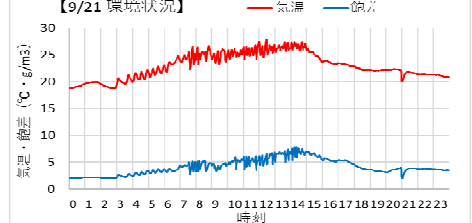
① 第3 M ② エンドウココバック栽培展示 ③ 2022/6/25 ④ 2022/9月

エンドウ			◀ 発芽しました
	<p>【栽培スタート】 9月19日に スナッフ豌豆・藤娘豌豆を直播しました。 昨年同様10cm株間です。 エンドウココバック栽培としては3年目です。</p>		

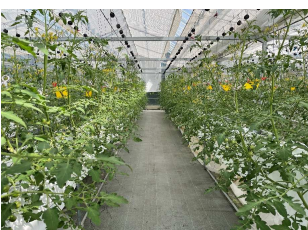

① 第6 露地 ② キャベツ品種比較試験 ③ 2022/8/19~④ 2023/4月

キャベツ			◀ 1作目結球始ま
	<p>冬キャベツ 計4作型 ①年内作 8/19定植。9/12追肥。 ②年またぎ作 9/3定植。本葉5枚目展開中。 ③年明け作 9/12定植。活着中。 ④3-4月作 8/29播種。本葉展開中。</p> <p>春キャベツ 計1作 年明け作 8/29播種。本葉展開中。</p>		<p>①は一部品種を除き、順調に生育。 晴天と雨を繰り返して、かなり萎れています。 ②は雨が続き、ぬかるみでの定植でしたが、 問題なく活着しました。 ③は問題なく定植が終わりました。 台風通過後は銅剤を使って消毒しました。</p>

① 第8 ② 高精度栽培収益確認試験 ③ 2022/8/1 ④ 2023/7月中旬

大玉トマト			◀ 大玉 ▶ ミニ
	<p>【9/21 環境状況】</p>  <p>大玉トマト4段開花、ミニトマト6段付近開花。 高精度栽培のため、給液ECはすでに6.0まで 上げています(単肥処方)。 今後は給液量も徐々に絞っていき 11月頃には高精度トマトになるように 仕上げます。 最近かなり涼しくなったので、 クロマルを導入しました。</p>		

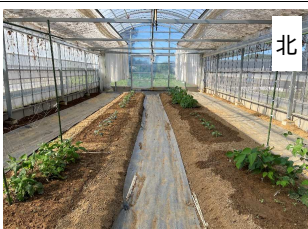
① 第1 TSK ② ココバッグ温湯培地加温試験 ③ 2022/8/23 ④ 2023/4月頃

ミニトマト			◀ 温湯管設置
	<p>4段目が開花してます。 ココバッグ台座を『中央排水タイプ』に変え、 バッグ下にPEパイプを通し、 お湯を循環させて培地を加温します。 本格的な試験は夜温が下がる11月頃か になります。(それまでは通常の栽培)</p>		

① 第1 P ② コマツナ品種比較試験 ③ 2022/8/22 ④ 2022/9月下旬

コマツナ			▶ 葉面散布区 ◀ 対照区
	<p>10月下旬より、秋蒔きコマツナ試験を開始予定</p>		<p>【今月最終】 9月20日に、葉色、葉長、立性等の 品種特性の調査を行いました。 同日に、見学会も開催しました。 一週間、生育を続け、 チップバーンが出ないなどを中心に もう一度、品種特性の調査を行う予定です。</p>

① 第7 TSK ② 海外野菜展示 ③ 2022/9月 ④ 2023/3月頃

海外野菜			◀ ビーツ発芽中
	<p>品目はこちら</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カリフラワー ・つるなしインゲン ・黒キャベツ ・ケール ・非結球芽キャベツ ・ズッキーニ ・ビーツ ・ニンジン ・スイスチャード ・チコリ 		<p>【栽培スタート】 9月上旬より、 イタリア野菜を中心に栽培中です。 一部品種は年内に収穫が始まります。</p>

① 第7 露地 ② カボチャ露地抑制裁培試験 ③ 2022/8/20 ④ 2022/11/下

カボチャ		
	<p>親蔓1本仕立てと子蔓3本仕立ての 2タイプ仕立てで行っています。 現在、交配終了して 9月21日に親蔓をピンチしました。 台風14号の被害もなく、 11月下旬の収穫予定になります。</p>	